

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 11 号)

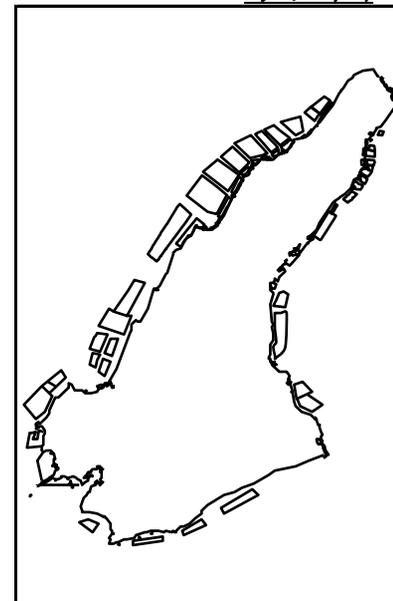
2023年 1月27日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラスが確認されていますが、発生量は大きく減少していました。大型珪藻のユーカンピアは、依然確認されています。窒素は、海域全般に概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(珪藻)

海域全般に、小型珪藻の発生量が前回(1/16・1/23)調査より大きく減少しており、ほぼ確認されない。また、ユーカンピアの発生量は、やや減少傾向にある。ただし、塩田～炬口漁場では、キートセロス、ユーカンピアが依然確認されており、発生量は増加傾向にある。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、西浦海域・大磯～仮屋漁場で5～120細胞(前回値：20～130細胞)、南浦海域で0～2細胞(前回値：0～10細胞)、塩田～炬口漁場で100～150細胞(前回値：50～110細胞)であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.9	1.6	3.7	1.3
	リン	0.38	0.36	0.36	0.19
西浦地先	窒素	1.6	1.5	3.6	1.6
	リン	0.45	0.46	0.46	0.37
南浦地先	窒素	1.3	1.4	3.6	2.2
	リン	0.50	0.41	0.45	0.40

(1/16)

※窒素の平均は鳥飼を除く

(1/26)

栄養塩 (窒素) 図

2023年 1月27日調査

